

平成31年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年10月12日

上場会社名 株式会社 エスケイジャパン 上場取引所 東  
 コード番号 7608 URL <https://www.sk-japan.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 八百 博徳  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 岡崎 栄一 TEL 06-6262-9221  
 四半期報告書提出予定日 平成30年10月12日 配当支払開始予定日 平成30年11月12日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第2四半期の連結業績（平成30年3月1日～平成30年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第2四半期	3,372	38.0	446	212.0	448	209.5	403	163.2
30年2月期第2四半期	2,443	5.1	142	39.4	145	45.3	153	63.6

(注) 包括利益 31年2月期第2四半期 410百万円 (183.6%) 30年2月期第2四半期 144百万円 (33.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第2四半期	48.28	—
30年2月期第2四半期	18.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年2月期第2四半期	3,264	2,581	79.1	308.98
30年2月期	2,763	2,196	79.5	262.87

(参考) 自己資本 31年2月期第2四半期 2,581百万円 30年2月期 2,196百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	3.00	—	3.00	6.00
31年2月期	—	3.00	—	—	—
31年2月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年2月期の連結業績予想（平成30年3月1日～平成31年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,200	15.1	580	76.6	580	74.9	500	△0.1	59.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（平成30年10月12日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	31年2月期2Q	8,490,103株	30年2月期	8,490,103株
② 期末自己株式数	31年2月期2Q	135,095株	30年2月期	135,027株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	31年2月期2Q	8,355,018株	30年2月期2Q	8,355,465株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、人手不足や原材料価格の高騰、相次ぐ自然災害、米国の保護主義的な通商政策による世界的な貿易摩擦の懸念等先行きに不透明感が急速に高まっているものの、企業収益や設備投資が堅調に推移し、雇用・所得環境の改善により個人消費に持ち直しが見られるなど緩やかな回復基調で推移しました。

このような中、当社グループは各事業部門とも好調に推移し、当第2四半期連結累計期間の売上高は、3,372百万円（前年同期比38.0%増）、営業利益は446百万円（前年同期比212.0%増）、経常利益は448百万円（前年同期比209.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は403百万円（前年同期比163.2%増）となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

## &lt;キャラクターエンタテインメント事業&gt;

キャラクターエンタテインメント事業におきましては、商業施設での「クレーンゲーム」の好調さに支えられ、「星のカービィ」「シャクレルプラネット」「忠犬もちしば」等の定番キャラクターが引き続き好調に推移しました。加えて積極的に新規キャラクター版権の取得とその商品化を行なった結果、売上高2,398百万円（前年同期比59.8%増）、営業利益379百万円（前年同期比281.7%増）となりました。

## &lt;キャラクター・ファンシー事業&gt;

キャラクター・ファンシー事業におきましては、一部の定番キャラクター商品についてはやや苦戦しましたが、自社オリジナルキャラクターの「忠犬もちしば」に加え「星のカービィ」「ポケットモンスター」といったゲーム関連キャラクター商品とオリジナル商品であるバスボール（フィギュア入り入浴剤）も好調であったことから、売上高973百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益66百万円（前年同期比53.4%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①財政状態

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて500百万円増加し、3,264百万円となりました。これは主に、流動資産のその他の減少額48百万円、電子記録債権の減少額20百万円により一部相殺されたものの、受取手形及び売掛金の増加額354百万円、商品の増加額122百万円、現金及び預金の増加額80百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて115百万円増加し、682百万円となりました。これは主に、流動負債のその他の減少額55百万円により一部相殺されたものの、買掛金の増加額134百万円、未払法人税等の増加額26百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて385百万円増加し、2,581百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加額378百万円によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて80百万円増加し、1,591百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、122百万円（前年同期は90百万円の使用）となりました。

これは主に、売上債権の増加額334百万円、たな卸資産の増加額122百万円により一部相殺されたものの、税金等調整前四半期純利益448百万円、仕入債務の増加額134百万円があったこと等を反映したものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、18百万円（前年同期は25百万円の獲得）となりました。

これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出17百万円があったこと等を反映したものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、25百万円（前年同期は25百万円の使用）となりました。

これは主に、配当金の支払額24百万円があったこと等を反映したものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、平成30年7月13日に公表いたしました平成31年2月期（通期）の連結業績予想を修正いたしました。

なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日（平成30年10月12日）公表の「業想予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,510,898	1,591,455
受取手形及び売掛金	600,991	955,354
電子記録債権	184,552	164,373
商品	135,744	258,334
繰延税金資産	58,674	72,020
その他	115,776	67,247
貸倒引当金	△1,875	△2,652
流動資産合計	2,604,761	3,106,132
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,697	14,697
減価償却累計額	△4,671	△7,168
建物及び構築物（純額）	10,025	7,528
車両運搬具	2,225	2,225
減価償却累計額	△1,948	△1,994
車両運搬具（純額）	276	230
その他	93,090	104,682
減価償却累計額	△81,611	△87,655
その他（純額）	11,479	17,027
有形固定資産合計	21,781	24,786
無形固定資産		
投資その他の資産	20,044	18,432
投資有価証券	54,269	53,188
退職給付に係る資産	46,441	47,303
その他	28,845	26,968
貸倒引当金	△12,555	△12,550
投資その他の資産合計	117,001	114,909
固定資産合計	158,828	158,128
資産合計	2,763,589	3,264,261

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	246,046	380,315
未払法人税等	46,977	73,970
賞与引当金	15,180	26,950
その他	184,901	129,420
流動負債合計	493,106	610,656
固定負債		
繰延税金負債	23,837	23,421
その他	50,334	48,651
固定負債合計	74,172	72,072
負債合計	567,279	682,729
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	461,997	461,997
資本剰余金	492,935	492,935
利益剰余金	1,282,296	1,660,576
自己株式	△51,564	△51,617
株主資本合計	2,185,665	2,563,892
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,381	20,901
繰延ヘッジ損益	△9,489	△626
為替換算調整勘定	△2,247	△2,634
その他の包括利益累計額合計	10,644	17,639
純資産合計	2,196,310	2,581,532
負債純資産合計	2,763,589	3,264,261

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
売上高	2,443,044	3,372,206
売上原価	1,699,014	2,243,925
売上総利益	744,029	1,128,280
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	170,744	187,144
賞与引当金繰入額	20,757	26,950
退職給付費用	4,952	5,198
役員退職慰労引当金繰入額	1,517	—
荷造運搬費	131,198	173,911
貸倒引当金繰入額	1,404	771
その他	270,485	288,181
販売費及び一般管理費合計	601,060	682,158
営業利益	142,969	446,122
営業外収益		
受取利息	2	25
受取配当金	435	381
為替差益	—	1,901
その他	1,692	548
営業外収益合計	2,129	2,857
営業外費用		
為替差損	25	—
その他	1	1
営業外費用合計	26	1
経常利益	145,072	448,978
特別利益		
投資有価証券売却益	29,908	—
特別利益合計	29,908	—
特別損失		
固定資産売却損	—	162
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	162
税金等調整前四半期純利益	174,980	448,815
法人税、住民税及び事業税	20,793	62,499
法人税等調整額	957	△17,029
法人税等合計	21,751	45,470
四半期純利益	153,229	403,345
親会社株主に帰属する四半期純利益	153,229	403,345



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年3月1日 至 平成30年8月31日)
四半期純利益	153,229	403,345
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,683	△1,479
繰延ヘッジ損益	2,848	8,862
為替換算調整勘定	287	△387
その他の包括利益合計	△8,547	6,994
四半期包括利益	144,682	410,340
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	144,682	410,340
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年3月1日 至 平成30年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	174,980	448,815
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△392	11,770
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,000	—
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△45,916	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△871	771
受取利息及び受取配当金	△437	△406
固定資産売却損益 (△は益)	—	162
投資有価証券売却損益 (△は益)	△29,908	—
固定資産除却損	0	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△369,900	△334,056
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△16,282	△122,589
仕入債務の増減額 (△は減少)	118,536	134,203
その他	102,417	20,062
小計	△72,775	158,733
利息及び配当金の受取額	437	406
法人税等の支払額	△18,558	△36,554
営業活動によるキャッシュ・フロー	△90,896	122,585
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の売却による収入	—	90
有形固定資産の取得による支出	△6,408	△12,712
無形固定資産の取得による支出	—	△5,087
投資有価証券の売却による収入	36,233	—
差入保証金の差入による支出	△2,521	—
その他	△1,829	△1,078
投資活動によるキャッシュ・フロー	25,474	△18,788
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	—	△53
配当金の支払額	△24,937	△24,954
その他	△483	△483
財務活動によるキャッシュ・フロー	△25,420	△25,491
現金及び現金同等物に係る換算差額	△183	2,251
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△91,025	80,557
現金及び現金同等物の期首残高	1,144,229	1,510,898
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,053,204	1,591,455

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(その他有価証券の評価方法)

その他有価証券のうち時価のあるものの評価差額については、従来、部分純資産直入法により処理してまいりましたが、前連結会計年度においてその他有価証券として保有する有価証券のうち市場動向によって売却を想定しているものの保有がなくなったことを契機として処理方法を見直した結果、原則的な処理方法である全部純資産直入法を適用する実務慣行が定着しており、他社との比較有用性を高めるため、第1四半期連結会計期間より、全部純資産直入法による会計処理に変更しております。

なお、当該会計方針の変更による過去の期間に与える影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。また、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響も軽微であります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,501,533	941,510	2,443,044	—	2,443,044
セグメント間の 内部売上高又は振替高	767	1,662	2,429	(2,429)	—
計	1,502,300	943,173	2,445,474	(2,429)	2,443,044
セグメント利益	99,339	43,629	142,969	—	142,969

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成30年3月1日 至 平成30年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,398,865	973,340	3,372,206	—	3,372,206
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,148	103	2,251	(2,251)	—
計	2,401,013	973,444	3,374,458	(2,251)	3,372,206
セグメント利益	379,191	66,931	446,122	—	446,122

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。